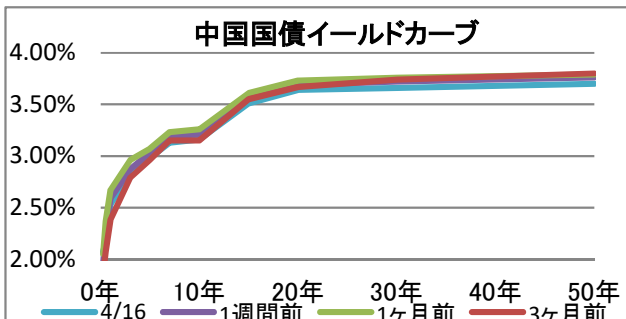
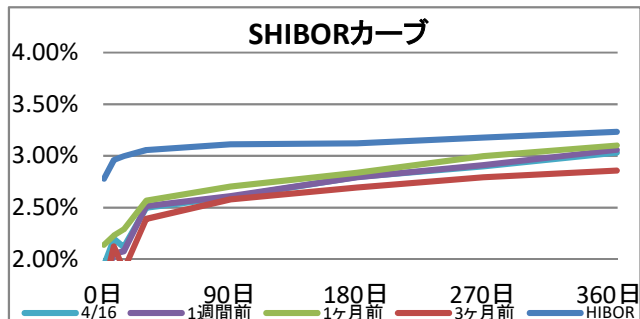


①市場概況

基準レート		2021/4/16	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.5288	-0.0121
	JPY/CNY	6.0072	0.0234
SHIBOR	3M	2.6010%	-0.0110%
国債利回り	10年	3.16%	-0.05%
上海総合指数		3,426.62	-24.06



(1) 概況

欧米金融市場は、週前半は材料に乏しく、J&J製ワクチン使用中止勧告もあって高値を更新していた米国株が弱含み、債券が買い戻されてドル安となったものの、週後半に堅調な経済指標と銀行の好決算により米株式は最高値を更新し、米国債利回りは日本勢の買いも噂されてショートカバーを巻き込んで低下が進み、ドルは弱含んだまま週末を迎えた。

中国金融市場は週末に経済指標の発表を控えて株式、債券ともに小動きとなり、人民元もドル安を映じてじり高の展開となり、発表された経済指標は概ね市場予想通りで、変動幅は限定的となっている。

李克強首相は、経済専門家・企業家との座談会で、不確定要素が多く、国内経済の回復もまだら模様との認識を示し、経済政策は安定性と持続性を維持して急変させずに合理的な期待を醸成を促すこと、規制緩和や対外開放により環境を整備して企業の活力を高める支援を継続すると発言。また、中国工信部は、2025年までに一定規模以上の製造業にデジタル化を普及させるとし、そのための金融支援を行うことを含む計画へのパブコメ募集を実施している。

中国人民銀行は、ストレステストの対象を全銀行に拡大することやマネロン関連法令を8月から施行することを決め、人民元先物市場の創設を検討する模様。国家外貨管理局の2020年中国国際収支報告によると、国内経済回復や金融市場開放を主因に中国の対外および対内証券投資はいずれも過去最高を更新している。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は地方債発行や納税による資金需給がタイト化する中、引き続きリバースオペにより毎日100億元を供給する調整を維持し、今月期日が到来するMLF等1,561億元（15日MLF1,000億元、25日TMLF561億元）に対応する新規MLF1,500億元（1年、2.95%は前回と変わらず）と中央国庫銀行定期700億元を実施し、差し引き1,300億元を供給している。

(3) 主な経済指標

- ・ GDP (第1四半期) は、前年比+18.3% (前四半期+6.5%) と前年の反動増もあって製造業を中心に過去最大の伸びを記録したものの、市場予想を若干下回り、前四半期比では+0.6%の低い伸びに止まっている。
- ・ 小売売上 (3月) は前年比+34.2% (2月+33.8%) と、飲食 (同+91.6%) が一段と高い伸びとなり、商品販売 (同+29.9%) も高水準を維持している。自動車や宝飾品等の高額消費の高い伸びが続いている。
- ・ 鉱工業生産 (3月) は前年比+14.1% (2月+35.1%) と製造業を主因に高い伸びを維持している。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.9460%	1.8500%	1.6000%	
1W	2.1990%	2.2000%	2.0500%	1.9500%
2W	2.1190%	2.1190%	2.3000%	1.9500%
1M	2.5010%	3.3000%	7.0000%	2.3800%
3M	2.6010%	3.8000%	2.3500%	2.5900%
6M	2.7980%			
9M	2.9000%	3.7000%		2.9300%
12M	3.0320%	4.4500%		3.0100%

資金需給は納税や地方債発行による資金需給のタイト化が懸念されているものの、中国人民銀行の安定した金融市場調整と同行高官の資金需給に応じた適切な調節により流動性の安定を維持するとの発言もあり、市場金利は緩やかに低下している。ただし、ターム物の出合いは1ヶ月の2.4%台での出合いを除き限定的となっている。

NCDは、引き続き長めの期間を中心に活発に取引されて金利水準も緩やかに低下している。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.30%前後、3ヶ月物が2.5%台後半、6ヶ月が2.75%前後、1年が3.0%前後を中心に取引されている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.01%	0.02%
1W	0.02%	0.03%
1M	0.10%	0.12%
3M	0.30%	0.32%
6M	0.40%	0.45%
12M	0.55%	0.60%

引き続き資金需給状況が安定している状況に変化はなく、ターム物の金利水準は1ヶ月は0.1%台前半、3ヶ月は0.30%前後で取引されている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.07%	2.12%	2.61%	2.72%	3.22%
6M	2.16%	2.18%	2.74%	2.81%	3.39%
1Y	2.53%	2.53%	2.94%	3.01%	3.58%
3Y	2.83%	2.99%	3.35%	3.46%	4.21%
5Y	2.98%	3.25%	3.53%	3.73%	4.48%
10Y	3.16%	3.46%	3.87%	4.04%	4.83%

債券市場では、地方債の発行が続き、堅調な経済回復を示す指標が発表されたものの、短期資金市場での金利の低下と安定的な金融政策への信頼から短期を中心に債券利回りは小幅ながら低下している。

イールドカーブは短期の利回り低下幅が大きかったことによりスティーピングが一段と進み、クレジットスプレッドはこれまでの国債利回りの高止まりの修正や中国企業のデフォルト懸念拡大を背景に拡大に転じている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	30.5 / 30.8
1M	145.0 / 146.5
3M	430.5 / 432.5
6M	851.0 / 852.0
9M	1266.0 / 1280.0
12M	1671.0 / 1673.0

対ドル基準レートは、6.5288と前週末比-121pipsのドル安元高、対円基準レートは6.0072と同+234pipsの円高元安と、前週からの米国債利回り低下によるドル安が続いており、人民元高水準での設定が続いた。

先物は、人民元金利の緩やかな低下が続いたことから、スワップ幅は1年物が1700台を下回る状況が続いている。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.37%		2.04%
6M	2.44%	2.73%	2.15%
9M	2.49%	2.82%	2.17%
1Y	2.52%	2.89%	2.20%
3Y	2.74%	3.24%	2.42%
5Y	2.91%	3.46%	
7Y	3.05%	3.62%	
10Y	3.19%	3.79%	

債券利回りが低下し、短期資金市場での金利も低下が続いたことから、スワップ金利も長めの期間を中心に下方にシフトしており、ややフラット化。これにより、債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは短期で拡大し、中長期では若干縮小している。

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。